

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公表番号】特表2016-519192(P2016-519192A)

【公表日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-039

【出願番号】特願2016-509240(P2016-509240)

【国際特許分類】

C 0 8 L	5/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	8/73	(2006.01)

【F I】

C 0 8 L	5/00
A 6 1 K	9/08
A 6 1 K	47/36
A 6 1 K	9/10
A 6 1 K	8/73

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月22日(2016.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水性又はアルコール系製剤のレオロジー挙動を変化させる方法であって、前記製剤に単分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子の組成物を添加する工程を含み、前記組成物が、動的光散乱法による測定で約0.3未満の多分散指数を有するか、前記レオロジー挙動における変化が、チキソトロピー挙動又はずり減粘の付与を含むか、又は、前記製剤が、チキソ性であり、前記レオロジー挙動における変化が、復元時間の増加を含むことを特徴とする、方法。

【請求項2】

前記製剤が、少なくとも1種の小分子、ポリマー、バイオポリマー、コロイド粒子又は油の、分散物又は溶液である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記製剤が、アルコール系製剤であり、前記アルコールが、エチルアルコール、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、ブチレングリコール、ジプロピレングリコール、エトキシジグリコール、グリセロール又はこれらの組み合わせである、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記組成物の少なくとも約80乾燥質量%が、約30nm～約150nmの平均粒径を有する单分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子である、請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記单分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子が、化学的に改質されている

、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記单分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子が、そのヒドロキシル基の少なくとも 1 つを、カルボニル基、アミン基、チオール基、カルボン酸基又はヒドロカルビル基で化学的官能化することにより化学的に改質されており、前記ヒドロカルビル基が、任意でアルキル、ビニル又はアリル基である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記製剤が、天然ガムを含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記製剤が、食品、化粧料、パーソナルケア製品、機能性食品、医薬品、ローション、ゲル、塗料、被覆剤、インク、潤滑剤、賦形剤、表面皮膜、安定剤又は掘穿泥水である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

单分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子を含む、水性又はアルコール系製剤のレオロジー挙動を改質するため添加剤であって、前記添加剤が、動的光散乱法による測定で約 0 . 3 未満の多分散指数を有するか、前記レオロジー挙動の改質が、チキソトロピー挙動又はすり減粘の付与を含むか、又は、前記製剤が、チキソ性であり、前記レオロジー挙動における変化が、復元時間の増加を含むことを特徴とする、添加剤。

【請求項 10】

前記添加剤の少なくとも約 90 乾燥質量 %、又は、約 90 乾燥質量 % が、約 30 nm ~ 約 150 nm の平均粒径を有する单分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子である、請求項 9 に記載の添加剤。

【請求項 11】

前記单分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子が、化学的に改質されている、請求項 9 又は 10 に記載の添加剤。

【請求項 12】

前記单分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子が、そのヒドロキシル基の少なくとも 1 つをカルボニル基、アミン基、チオール基、カルボン酸基又はヒドロカルビル基で化学的官能化することにより化学的に改質されており、任意で、前記ヒドロカルビル基が、アルキル、ビニル又はアリル基である、請求項 11 に記載の添加剤。

【請求項 13】

粉末、液体又はゲルの形態である、請求項 10 ~ 12 のいずれか一項に記載の添加剤。

【請求項 14】

請求項 9 ~ 11 のいずれか一項に記載の添加剤と水性又はアルコール系製剤とを含む組成物であって、前記水性又はアルコール系製剤が、少なくとも 1 種の小分子、ポリマー、バイオポリマー、コロイド粒子又は油の、溶液又は分散物であり、前記組成物が、前記添加剤を含有しない同じ組成物と比較して、チキソトロピー挙動又は増加したすり減粘を有するか、又は、前記組成物が、前記添加剤を含有しない同じ組成物と比較して、チキソ性であり、且つ増加した復元時間有することを特徴とする、組成物。

【請求項 15】

前記組成物が、アルコール系製剤であり、前記アルコールが、エチルアルコール、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、ブチレングリコール、ジブロピレングリコール、エトキシジグリコール、グリセロール又はこれらの組み合わせである、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記添加剤が、前記組成物の約 5 ~ 約 25 質量 / 質量 % を構成する、請求項 14 又は 15 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記組成物が、天然ガムを含む、請求項 14 ~ 16 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 18】

前記組成物が、食品、化粧料、パーソナルケア製品、機能性食品、医薬品、ローション、ゲル、塗料、被覆剤、インク、潤滑剤、賦形剤、表面皮膜、安定剤又は掘穿泥水である、請求項14～17のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項19】

前記組成物が、スプレー式化粧料、スプレー式日焼け止め、ヘアスプレー、スプレー式デオドラント剤、スプレー式制汗剤、スプレー式アフターシェーブローション又はスプレー式手指消毒剤から選択されるパーソナルケア製品である、請求項18に記載の組成物。

【請求項20】

水性又はアルコール系製剤を安定化する方法、又は、水性又はアルコール系製剤における有機化合物の光安定性を上昇させる方法であって、単分散グリコーゲン又はフィトグリコーゲンナノ粒子を前記製剤に添加する工程を含むことを特徴とする、方法。